

# 日本東京大學文學部所藏小倉文庫의 對訛여

一

日本東京大學文學部所藏小倉文庫의 對訛여  
二〇一四年五月廿日(金)十五時半至十七時半 於高麗大學校人文大學  
宮山大學名譽教授、麗澤大學、京都大學客員教授  
藤本幸夫

## 一 東京大學

一八七七年 東京大學創設(東京開成學校忠、法·文·理科大學)

一八八二年 帝國大學(法·醫·工·文·理科大學)

一八九三年 京都帝國大學創設 東京帝國大學更名改稱

## 二 小倉進平博士(一八八二·六·四—一九四四·二·八) 宮城縣仙臺人

一九〇三年 東京帝國大學入學、言語學專攻、卒業論文、平安朝의 音韻  
國語學研究助手、一九一年 朝鮮總督府勤務、一九二四·二·六年 歐洲巴  
米國留學、一九二六年 京都帝國大學教授、一九三三·一四三年 東京帝國大

### 三 着書

- 朝鮮語學史 (一九二〇)、增訂版 (一九四〇)、增訂補註 (河野六郎) (一九六四)  
國語及朝鮮語のため (一九二〇)、南部朝鮮の方言 (一九二四)  
仙臺方言音韻考 (一九三二)、朝鮮語と日本語 (一九三四)  
朝鮮語の系統 (一九三五)、朝鮮語における謙讓・尊敬法の助動詞  
(一九三八)、朝鮮語方言研究 (上・下) (一九四四)  
小倉進平著作集 (一九七四)  
御歌及び吏讀 (研究) (一九二九)

### 四 小倉文庫目録

- 股部元 小倉文庫目録  
福井玲 小倉文庫目録 (朝鮮文化研究大、二〇〇一)  
同 小倉文庫目録 其二 舊登錄本 (韓國・朝鮮文化研究、二〇〇三)

### 五 書分類・部数・冊数

- (一) 一九八〇年三月四日登録 (一七四三三七至一七五二七七)  
五四〇部九四二冊 小倉文庫四三三七至五二十七

六

(二) 萬葉錄本 (一九三五—一九五五年) (一九三五—一九五〇年七八間)  
一九五部三六九冊

藏書의 特徵

(一) 全體的으로 朝鮮語學書 (主로 読解本) 或은 語學關係書 (『欽定元史語解』『欽定金史語解』『說文解字注』『伍倫全備』『爾雅』)

(二) 古刊本은 많지 않고 主로 十七世紀以後刊本이 많으나 分野이

겹쳐 두루 갖추어져 있음

異版이 많음

『佛說大報父母恩重經』(古刊本、一四八六年刊) 『佛說大報父母

恩重經』(『説解』)(一五五三年、一五六四年、一六三五年、一六七六年  
一七一年、一七二〇年) 『불성대보부모이중경』(正祖中)

小倉傳工筆寫本 日本人筆寫本이 더러 있음  
中村左次郎翁(一八五五—一九三二) 寄贈寫本이 있음 二十七冊

七十五・十六世紀 諺解本

『牧牛子修心訣』(一四六七)、『法語』(一四六七、萬曆頃重刊)、  
『分類杜工部詩』卷十七(一四八一)、『試初心學人文』發心修行章  
『野雲自警序』(一五八三)、『千字文』(一五七五)、『蒙山和尚法  
語略錄』(萬曆頃重刊本)、『釋嚴經諺解』卷五・九(一四六二)、『妙法  
蓮華經諺解』(一四六三)、『般若波羅密多心經』(一四六四、一四九五跋刊)  
『禪家龜鑑』(一五六八)等

八 司牧牛子修心訣 一卷一冊

丕顯闍訣 琴覺尊者譯

成化三年丁亥歲朝鮮國刊行 鄭都監序 / 教雕造

問汝一言見性니한 若真見性댄인 即是聖人

ライ應現神通變化야한 與人有殊니 何故로 今

時修心之輩이 無有一人이 發現神通變化

耶오 答汝一不得輕發狂言야한 不分邪正나이

是為迷倒之人라이 今時學道之人이 口談真

理리 心生退屈야한 返墮無分之失者이 皆汝

所疑라 學道而不知先後여 說理而不分本

三八七 世界一切衆生 令得四果 其功德 이無  
 三八八 量無邊 둔천 마 不姻一食頃 나이 正思此法 所  
 三八九 獲功德 니히 是知我此法門 이 最尊最貴 於

※ 東洋文庫所藏本

九千字文 一卷一冊 (宣祖八年乙亥 一五七五)

卷末 萬曆三年月日光州刊上

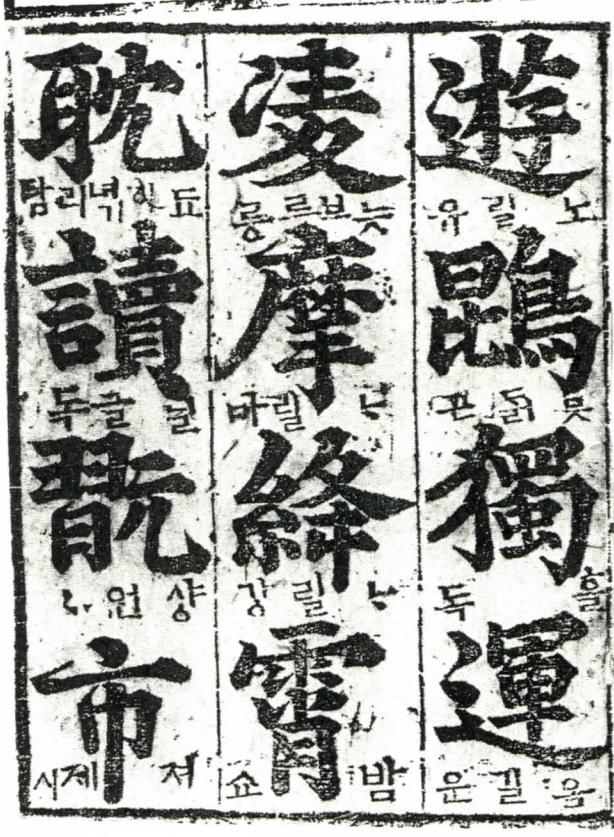
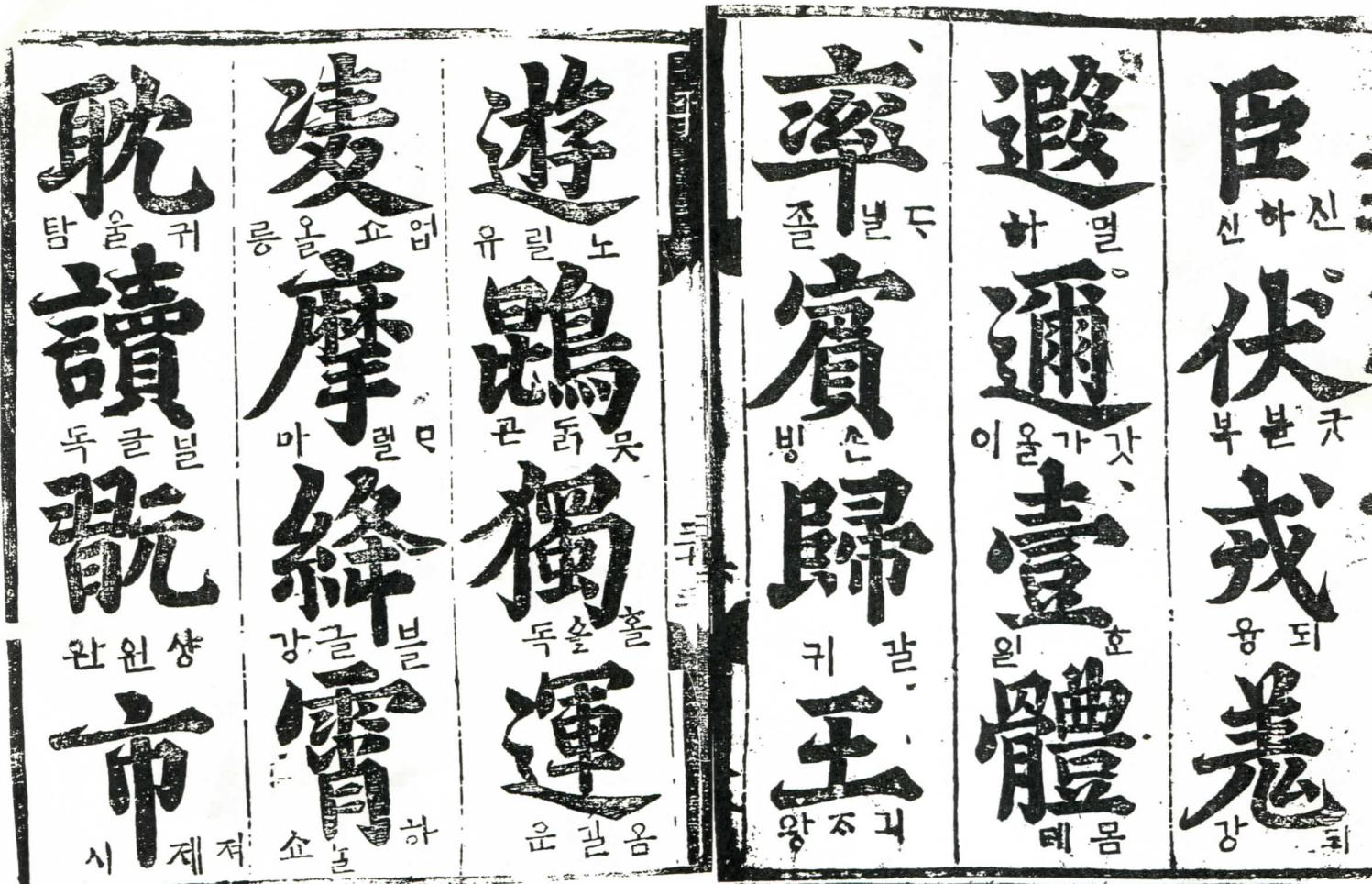
檀國大學校附設東洋學研究所 「東洋學叢書」第三輯

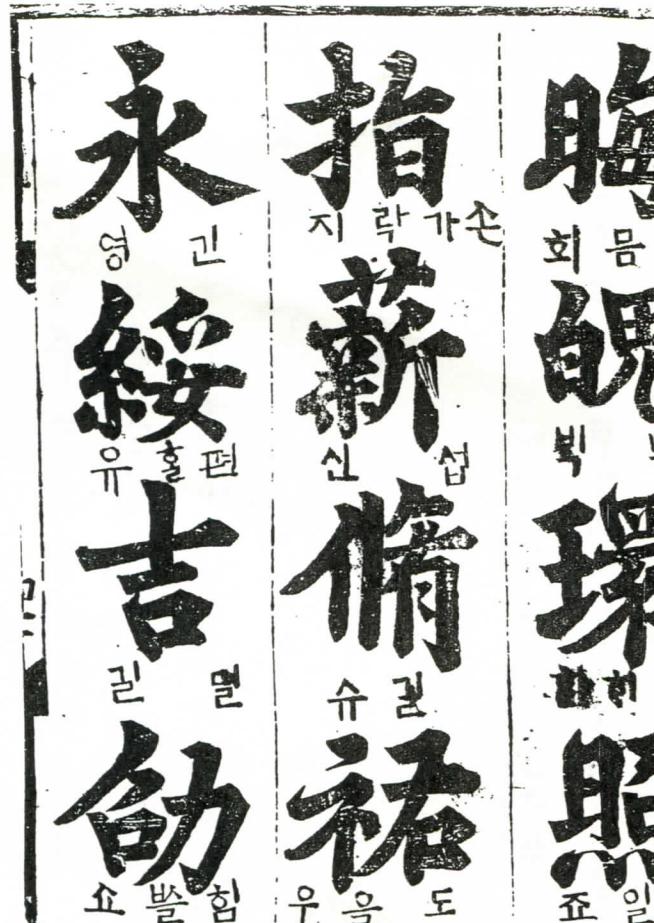
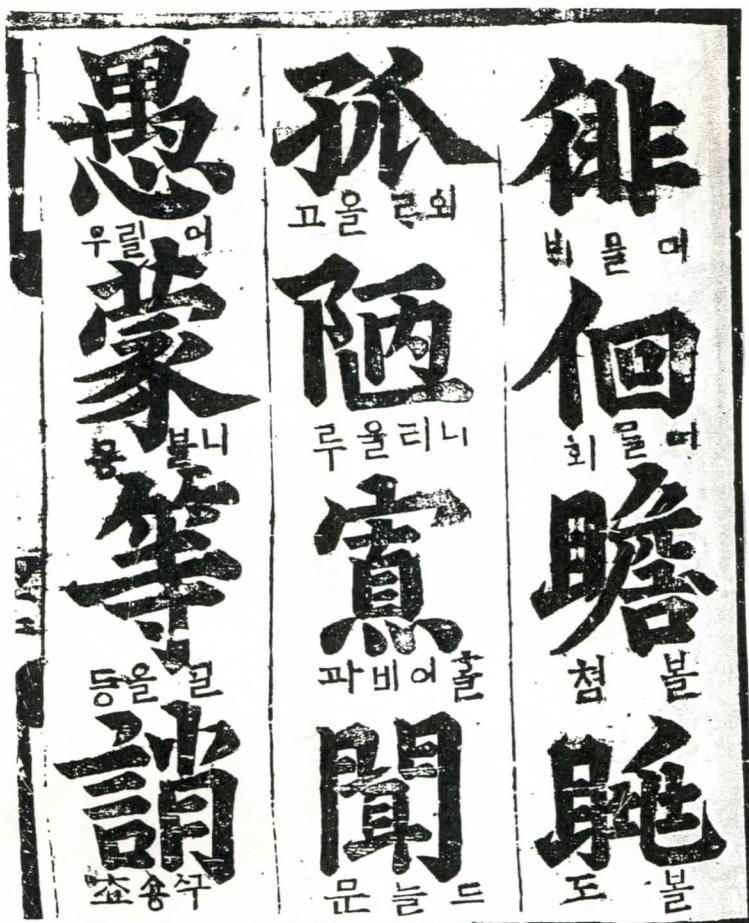
※ 本書上 鎌田光登 (Kamata Mitsuto 一九四九年東京大學文學部)

言語學科卒業 一氏蔵書 (梅田博之氏에 유함)

※ 大東急記念文庫藏 千字文

朝鮮學報 九十三輯影印 一九七九





教書

萬曆十一年正月日副司果臣韓濩奉

謂語助者  
○○○○  
馬哉乎也  
○○○○  
언경입 지경입 호야경입  
위루니 어여말 조올도 자쟈마